

環境・社会報告書

ENVIRONMENTAL AND SOCIAL REPORT

2022



日本飛行機株式会社

環境方針

基本理念

日本飛行機株式会社は、航空宇宙の分野で製造と整備を核に高品質の製品・サービスを社会に提供する企業である。当社は、地球環境問題が次世代以降にも及ぶ社会構成員総てに関わる最重要課題の一つであることを認識し、持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する。

基本方針

1. 製品の研究、開発、設計、製造、修理、整備におけるライフサイクルの全ての段階で、発生し得る環境影響を認識し、事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、使用資源・エネルギーの有効利用、環境汚染物質並びに廃棄物の分別・処理の適切な管理及び削減を行い、地球環境の保護と地球環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動に当たっては、環境に影響を及ぼす活動、製品及びサービス（以下、環境側面と呼ぶ）に関連する国際条約、法律、規則及び協定等を遵守する。
3. 全社の環境側面並びに法的要求事項、環境状態、利害関係者のニーズ及び期待、外部及び内部の課題等に関するリスク及び機会から実施計画を定め実行する事により、環境パフォーマンスを継続的に改善する。
4. 環境教育により社員及び当社のために働くすべての人の環境保全活動に対する理解と、環境に関する意識向上を図る。
5. この環境方針を社員及び当社のために働くすべての人に周知する。また、この方針は外部からの要求に応じ随時提供できるものとする。

日本飛行機株式会社
取締役社長 飛永 佳成

ごあいさつ



取締役（企画本部長）
[環境管理責任者]
藤本 泰司

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染は、未だ終息の見通しは立っておらず、第7波の予兆も聞こえてきております。罹患された方とご家族に対して心よりお見舞い申し上げますとともに、昼夜を問わず最前線に対応されている医療従事者など、関係者の皆様に深く敬意を表し感謝申し上げます。当社従業員とその家族の安全、健康維持を最優先事項として取り組んでおります。

当社は、「環境方針」を定め、ESG（環境、社会、ガバナンス）の取り組みを、グループ企業の脱炭素経営の加速を含め、あらゆる事業活動を通じてあらためて強化をしております。国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」で示された社会が抱える問題に対し、事業活動を通じて企業としての役割を果たし、持続可能な社会の実現に向けてさらなる貢献をいたします。また、ステークホルダーの皆様のご期待やご要望に応え、信頼を得ることが必要不可欠と考えます。

最近では、ロシアのウクライナ侵攻に起因したエネルギー供給バランスの変化により、産業界全体の温室効果ガス排出量への影響が懸念されています。当社としてはこれに柔軟に対応する他に、当社の事業構造の変化による環境負荷を適切にとらえ、これからもより一層の企業努力を続けてまいります。

本報告書は、当社が毎年策定している環境マネジメント計画に基づき実施している環境活動について、活動の概要をステークホルダーの皆様にご報告するものです。

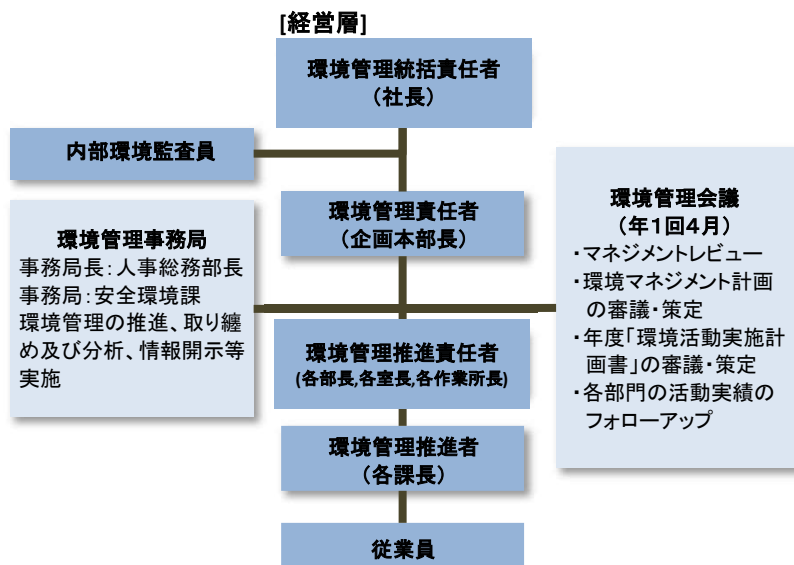
引続き信頼と安全の実現といったニーズに応える製品・サービスをお客様に提供することを通じて、豊かな生活や社会の発展に貢献するとともに、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションをふまえ、多様な環境保全活動や社会課題への取り組みを推進することにより、社会的責任を果たすことを目指しています。活動内容にご理解いただき、さらなるご支援とご鞭撻を頂ければ幸いです。

体制

私たちは「環境管理総括責任者」(社長)をトップとした体制を構築し、環境負荷軽減に向けた取り組みを推進しています。

「環境管理責任者」(担当役員)を議長とする「環境管理会議」を毎年開催しています。活動実施計画の策定及び評価を行い、運用状況をチェックすることによって、環境負荷軽減に向けた仕組みが効果的に機能している事を確認しています。

当社はJIS Q 14001を2006年に取得し、2017年にJIS Q 14001:2015を取得。環境管理を継続的に改善しています。



SDGsに関連した事業活動

当社は社会の持続可能性に貢献するため、普段からSDGsに関連した事業活動に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 住み続けられるまちづくりを
- つくる責任つかう責任
- 気候変動に具体的な対策を



- ・リサイクル (廃棄物の分別、蒸気脱脂装置排ガス処理の溶剤回収型への変更)
- ・溶剤型塗料から水性塗料への変更による揮発性有機化合物の排出量削減
- ・塗料の適正購入による廃棄量削減 (生産に連動した有効期限管理)
- ・化学物質の適正な管理 (保管、使用、廃棄それぞれの管理強化)

- 安全な水とトイレを世界中に

- ・工場の廃水処理の実施



工場別活動報告

■ 横浜工場

- 【所在地】 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175
 【土地面積】 151,575㎡
 【事業内容】 航空機部分品、標的システム、ロケット部分品、宇宙機器の製造

● 主な環境活動内容

実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	18.24kL/千Hr以下	18.01kL/千Hr
一般廃棄物の削減	2009年より運用管理に移行済み	
環境汚染防止のための設備更新	0件	1件

■ 厚木工場

- 【所在地】 神奈川県大和市草柳2-28
 【土地面積】 73,860㎡
 【事業内容】 航空機の整備・改修・改造

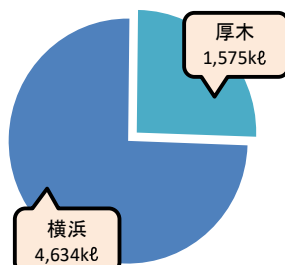
● 主な環境活動内容

実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	3.92kL/千Hr以下	3.19kL/千Hr
一般廃棄物の削減	2013年より運用管理に移行済み	
環境汚染防止のための設備更新	1件	1件

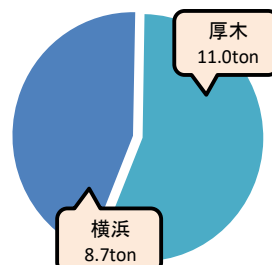
事業活動による環境負荷

インプット

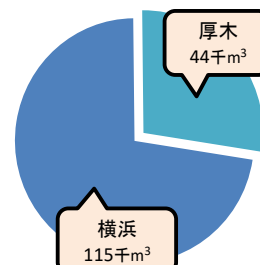
エネルギー(原油換算)
6,209 kℓ



PRTR届出対象物質
19.7 ton



水質資源
159 千m³



アウトプット

		横浜工場	厚木工場
大気放出	CO ₂	8,509 ton	2,950 ton
	PRTR届出対象物質	5.9 ton	5.6 ton
廃棄物	一般廃棄物	71 ton	50 ton
	産業廃棄物	310 ton	173 ton
	特別管理産業廃棄物	153 ton	26 ton
水系排出	下水	37 千m ³	32 千m ³
	河川等	49 千m ³	12 千m ³
	COD ※1	1未満 ton	- ton
	BOD ※2	- ton	- ton

※1 化学的酸素要求量 ※2 生物化学的酸素要求量

環境活動

環境活動の内容を以下に紹介いたします

施設の省エネ対応



厚木工場の工場建屋の屋根を遮熱塗装することにより空調効率の向上を図り省エネを実現しました。今後も低消費電力型設備への更新や運用改善に取り組み、工場の省エネルギー化を推進していきます。

地域社会との関わり



工場周辺の環境美化を目的として、工場周辺の一般道や公園のゴミ拾いを実施しました。また、地域の環境保全企業団体に参画し、環境美化活動および環境保全啓蒙活動を実施しました。

地域社会へ貢献することに加え、従業員一人ひとりの環境保全意識の向上に心掛けております。

認証取得

横浜工場

本工場

- ・航空機部分品、航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の設計・開発、製造
- ・宇宙機器部分品の設計・開発、製造
- ・航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の整備(含む修理、保守)及び改修

共同事業所: 日飛スキル株式会社

- ・航空機部分品の組立作業、及び部品の加工
- ・材料及び製品の受領、保管、払出

北工場

- ・航空機部分品、航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の設計・開発、製造
- ・宇宙機器部分品の設計・開発、製造
- ・航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の整備(含む修理、保守)及び改修

共同事業所: 日飛スキル株式会社

- ・航空機部分品の組立作業、及び部品の加工
- ・材料及び製品の受領、保管、払出

厚木工場

本工場

- ・航空機、航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の整備(含む修理、保守)及び改修
- ・航空機の改造設計、改造

共同事業所: 日飛スキル株式会社

- ・材料及び製品の受領、保管、払出

南工場

- ・航空機、航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の整備(含む修理、保守)及び改修
- ・航空機の改造設計、改造

中央ビル

- ・航空機、航空機関連の装備品、地上支援器材(GSE)、教育・訓練器材及び誘導機器構成品の整備(含む修理、保守)及び改修
- ・航空機の改造設計、改造

共同事業所: 日飛スキル株式会社

- ・材料及び製品の受領、保管、払出



BSKE0022

適用規格: JIS Q 14001:2015

関連業界や 地域からの情報、 苦情及び 法令順守状況

2021年4月～2022年3月の期間で、近隣住民より以下のような苦情がありました。
その他、法令違反、行政処分はありませんでした。

- 横浜工場の近隣住民より樹木が大型台風等による倒木の不安があると連絡がありました。従前より樹木を管理し計画的に剪定を行っておりましたが、専門業者による剪定を実施して不安を払拭しました。
- 厚木工場の近隣住民より工場内の建屋補修工事のための足場建設音が大きいと連絡がありました。今後同様の音が発生することが予想できる工事については、事前に近隣の方にお知らせしてご理解いただくことにしました。
- 厚木工場の近隣住民より廃水処理施設の夜間の装置作動音が気になると連絡がありました。装置の自動制御の設定を変更し、作動音がしないようにしました。



日本飛行機株式会社

〒236-8540 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175

TEL:045-773-5100 FAX:045-773-5102

<http://www.nippi.co.jp>

本掲載データは、2021年4月～2022年3月を対象としています。(22本発第081号)